

BIP 植物由来原料を使用

軟硬質フォームに展開

BASF INOAC

ポリウレタン (BIP) 愛知県新城市) は、これまで用途・条件に対応できるウレタンフォームシステムの「フォームライト」を提供し、豊かな地球環境を守り、安心して暮らせる環境作りをいち早く取り組んできたが、このほどカーボンニュートラル社会の実現に向けて、植物由来からなるバイオマス原料を一部使用したポリウレタンフォーム「フォームライト・バイオ」を開発した。

「バイオ」を開発した。

ポリウレタンフォームにおいて、一般的にバイオマス原料を用いると外観、品質が低下するが、開発したフォームライト・バイオは、同社の長年のウレタンフォーム開発における基礎技術により、石油由来原料からなるウレタンフォームと同等の外観、品質を得ることが出来る。

また、使用するバイオマス原料は、食糧問題への影響がない非可食の植物を使用している。フォームライト製品シリーズは、硬質ウレタンフォームと軟質ウレタンフォームに大別される。硬質ウレタンフォームは、高断熱性を有する材料であり、工場やビルディング、住宅などの壁用断熱材と吹き付け用断熱材に使用されている。また、軟質ウレタンフォームは、オフィスチェア用クッションやマットレスに使用されている。

開発したバイオマスウレタンフォームの名称については、同社従業員の思いを製品に込められた「Reorea (レオレア)」と命名した。断熱性を高めることで得られる省エネルギー効果により、二酸化炭素の排出の削減を目指し、循環型社会を実現したいとの思いを込めて、Meguru (メグル) が付けられている。

軟質ウレタンフォームは、「フォームライト・バイオ Reorea」と命名した。有機化学的にウレタン構造を制御して作られたウレタンフォームであり、再生可能な有機資源、すなわち、Renewable organic resourcesを略して、Reorea (レオレア) と付けている。

また、ウレタンエラストマーは、高弾性、衝撃吸収材として使用され、Reorea に含む。開発したフォームライト・バイオ製品のバイオ化度は、硬質が10%、軟質が25%、エラストマーが70% (別表参照)。

硬質用の「フォームライト・バイオ Meguru」、軟質用の「フォームライト・バイオ Reorea」は、今後は、フォームライト・バイオ製品のラインナップを増やし、同社ではカーボンニュートラル社会の実現を目指すとしている。

HP (https://www.bip.jp.com/) まで。

〈フォームライト・バイオ製品〉

フォームライト・バイオ	Meguru	Reorea	Reorea
フォーム特性	硬質	軟質	エラストマー
バイオ化度 (%)	10	25	70
密度 (Kg/m3)	26	55	350
用途	断熱材	クッション マットレス	高弾性材 衝撃吸収